

夏休み親子陶芸体験
親子陶芸で夏休みの思い出づくり

上野焼陶芸会館で7月30、31日に夏休み親子陶芸体験が行われ、計37人の親子が参加しました。夏休みの課題作成や思い出作りのため、上野焼協同組合が開催し今年で3回目。参加者は窯元の指導のもと、ろくろの上で茶わんの形を整えたり、カップにメッセージや絵柄を彫ったりしながら、オリジナルの器作りを楽しみました。



↑ 真剣な表情で作陶する親子。完成した器は新学期に間に合うように届けられます。

↓ 被災地支援で、携帯電話の充電器、500 mlのペットボトルなどが役立つと紹介。



福智町防災講演会
大事な人を守るために“備え”を

福智町「防災の日」の7月24日、地域交流センターで町主催の防災講演会が行われました。九州防災パートナーズ代表理事の藤澤健児氏が、被災地支援の経験や大地震の事例を元に講演。「備え」の大切さや、「想定にとらわれるな」などの避難の原則、地域で防災に取り組むことの重要性などを参加者約380人に力強く訴えました。

「シティリビングナイト2016 夏」に出展
福岡都市圏の女性1千人に福智をPR

働く女性を対象とした新商品体験イベント「シティリビングナイト」が8月8日に福岡市内のホテルで開かれ、福智町が特産品をPRしました。情報誌の抽選で選ばれた1千人に「ふくち☆リッチゼラート」などを試食や販売で提供。432人から商品アンケートの回答を得るなど、今後の特産品の展開につながる貴重な出展になりました。



↑ 西日本リビング新聞社主催のイベントで町の魅力やふるさと納税もPRしました。

↓ 方城中バスケット部でも一緒に練習を重ね培った力を発揮した木村さん◎と沼野さん。



第51回全国私立短期大学体育大会で優勝
町出身の2人が活躍し、見事全国優勝！

全国私立短期大学体育大会が8月8日から4日間行われ、女子バスケットボールで近畿大学九州短期大学が優勝しました。福智出身の木村こゆきさんと沼野かえでさんは、小学生の頃から続けてきた練習の成果を発揮し、全国18チーム中で念願の初優勝。「お世話になった監督や、応援してくれる家族に感謝しています」と笑顔で話しました。

↓ 応援メッセージが書かれたつり革は2つの車両に1つずつ。なのはな号の中で、ぜひ探してみてください！



赤池中PTAがつり革オーナーに
卒業生に向け応援メッセージ

平成筑豊鉄道のちくまるをデザインしたつり革に、赤池中PTA役員が卒業生に向けて応援メッセージを書き込みました。中学校を旅立ち、新たな分野で頑張る“赤池っ子”たちを毎日の通学で元気づけようと、赤池中PTA役員が「ちくまるつり革オーナー」に応募。心温まるメッセージを乗せた「なのはな号406・407号」は、8月から来年7月まで1年間走ります。



岩屋神社夏越祭
茅の輪くぐり家族で夏の思い出を

7月23日、24日に岩屋神社(弁城)で夏越祭が開かれました。23日の前夜祭で、筑前琵琶保存会の高木青鳳さんによる「十二支のはなし」などの弾き語りや、和太鼓演奏、家族で楽しめる工作などイベントが盛りだくさん。締めくくりには茅の輪神事が行われ、参拝者は直径約2メートルの茅の輪をくぐり、家内安全や身体健康を願いました。



↑ 境内に設置された茅の葉で作られた輪をくぐり、日々の健康や安全を願う参拝者。

↓ 長さ約1.6m、重さ3.9kgもある三八式歩兵銃などの装備を児童に付けて説明。



伊方小学校平和学習
戦争の悲惨さを語り継ぐ

町内の小中学校で8月5日、平和学習が行われました。伊方小では、小竹町の「兵士庶民の戦争資料館」副館長の武富慈海さんが、陸軍兵として東南アジアなどに従軍した父・登田男さんの話を6年生54人に披露。戦争の悲惨さや平和の大切さを説き、「戦争を繰り返さないため、自ら考えて動く能力を身に付けて」と語りかけました。